

第21回「議員と語りかい」報告書

3班田口、狭名田、栢野 (No.1)

開催日	平成28年11月8日(火) 18時30分 ~ 20時00分		
開催場所	霧島公民館		
団体名	田口、狭名田、栢野地区	参加人員	13人 (男10人:女3人)
出席議員	前島 広紀、平原 志保、中村 正人、前川原 正人、中馬 幹雄 植山 利博		
役割分担	班 長 (平原 志保) 副班長 (前島 広紀) 記録係 (前川原 正人)		

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆野上神社の枝が落ちてくる。道路に枝や落葉が積り、車が滑る状況であり、霧島神宮にも要請してほしい。また、年末までに除去できないのか。

◇まちづくり計画書にも掲載されており、地元議員も把握している。行政にも伝える。

◆霧島のグラウンドゴルフ協会が練習しているが、緑の村は有料である。野上地区の広場は、使用料がいない。健康づくりでグラウンドゴルフをやっている場合には、緑の村の使用料の補助や無料化はできないか。

◇グラウンドゴルフ使用料については、高齢化社会が進むなか市の施設で、今後、議会でも議論していきたい。

◆小学生の登下校が心配である。交通安全対策を図ってほしい。

◇太田小学校区で交通事故が発生した事例がある。学校や保護者で見回りを行っており、市職員や交番、教員が協議した。防犯パトロール、PTA、交通安全母の会などで対応している。(ほかの地区での取組を紹介)

◆将来を担う子どもたちのために「子どもの学習サポート」などを実施していただき、まち部と中山間地の格差がないような取組をしてほしい。

◇小学校の空き教室を活用して、放課後児童クラブを試験的に実施した。今後、空き教室を利用した放課後子ども教室等の事業も議会において議論を進めたい。

◆総合支所は出張所に変わるのか。また、自治会に加入していない世帯が6世帯あるが、市が責任を持つのか。

◇出張所の名称は、名称が軽いというイメージがある。行政的には、「支所」ということになると聞いている。自治会加入については、行政から強制的な加入はできない。

3班田口、狭名田、栢野 (No.2)

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆道路標識に、「落石注意」があるが、どのように考えているのか。東北地震以降、再生エネルギーが言われてきたが小水力発電に取り組み、中山間地の活性化にもつながっていくと考えるが進めていくべきではないか。

◇ホームページでは、土石危険個所の公共施設危険個所が6500箇所ある。各議員は、日常的に意識して考えていると思う。小水力発電は、水路の管理に問題があり、今後、勉強していきたい。

◆中山間地域から市内への人口流出があるが、数字的にはどうか。また、人口流出防止策として、どのような対策をしているのか。費用をかけても追いつかないのではないか。

◇合併前との比較では、3500人が中心部に流出している。防止対策として「移住定住対策」などを行っており、施策をしなければ流出の歯止めにならないと考える。